

**製品名: KRT15 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80786**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	49kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KRT15
別名	K15; CK15; K1CO; KRT1
遺伝子 ID	3866.0
SwissProt ID	P19012
免疫原	大腸菌で発現した KRT15 の精製された組み換え断片。

**背景**

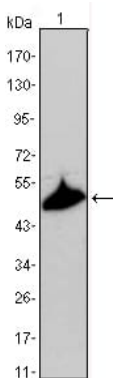
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ケラチン遺伝子ファミリーのメンバーです。ケラチンは、上皮細胞の構造的完全性を担う中間径フィラメントタンパク質であり、サイトケラチンと毛髪ケラチンに分類されます。ケラチン 15 は、明確なタイプ II パー

トナーを持たないI型ケラチンです。ケラチン 15 は、主に胎児表皮や胎児爪などの重層組織の基底ケラチノサイトで発現しています。ケラチン 15 の発現は、乾癬や肥厚性瘢痕などの一部の過剰増殖状況においてダウンレギュレーションされます。乾癬や肥厚性瘢痕のケラチノサイトは活性化されているため、ケラチン 15 の発現はケラチノサイトの活性化と両立せず、活性化表現型を維持するためにケラチン 15 遺伝子がダウンレギュレーションされていると考えられます。

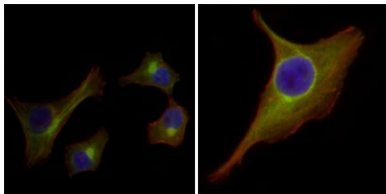
## 研究分野

-

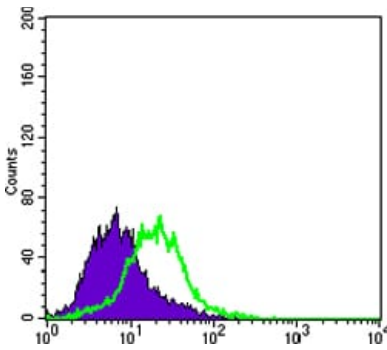
## 画像データ



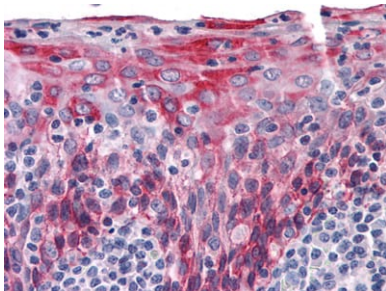
A431 細胞溶解物に対する KRT15 マウス mAb を使用したウエスタン プロット分析。



KRT15 マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞 (左) および PACN-1 細胞 (右) の免疫蛍光染色。赤: DY-554 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



KRT15 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した PACN-1 細胞のフローサイトメトリー分析。



KRT15 マウス mAb を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析